

令和2年度
第1回
区政モニター会議

令和2年7月18日(土)

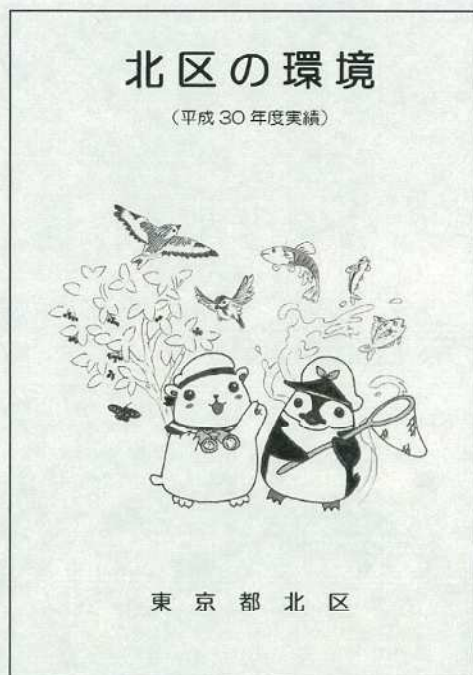


生活環境部環境課

気候変動時代における
私たちの役割
～脱炭素社会に向けて～



環境課ってなにをしてるの？



<https://www.city.kita.tokyo.jp/kankyo/jutaku/kankyo/chosa/kankyo.html>

●自然との共生

動植物調査、外来種の情報発信
自然観察・環境学習の充実

●みどりの保全

「北区緑の基本計画」
まちなか・地域の緑化

●温暖化問題への対応

「北区地球温暖化対策地域推進計画」
省エネ・再エネ・蓄エネの推進

●清掃・リサイクル事業

⇒リサイクル清掃課・北区清掃事務所

●環境美化

ポイ捨て防止、あき地の適正管理

●公害対策

環境モニタリング（大気・水質・土壌等）
騒音・悪臭等に対する苦情相談・指導

北区「環境方針」

北区は、現在及び将来のすべての区民が、健康で快適な生活を送ることができる「環境共生都市」を実現するため、地方自治体として、また区内最大規模の事業者として、地球環境問題に率先して取り組みます。

事業活動を行うときは、関連する環境関係の法令や協定などを遵守し、計画から執行、事業終了にいたる全ての段階において、環境への負荷を最小限に抑え、環境汚染の防止を図ります。

また、区民・事業者・民間団体及び区が協働で、低炭素社会、循環型社会及び自然共生社会づくりの取組みを統合的に進めていくことにより、持続可能な社会を目指します。

1. 地球環境問題の今

2. 北区の現状・取組み

3. COOL CHOICE

～「賢い選択」で地球温暖化対策～

4. グループワーク

1. 地球環境問題の今



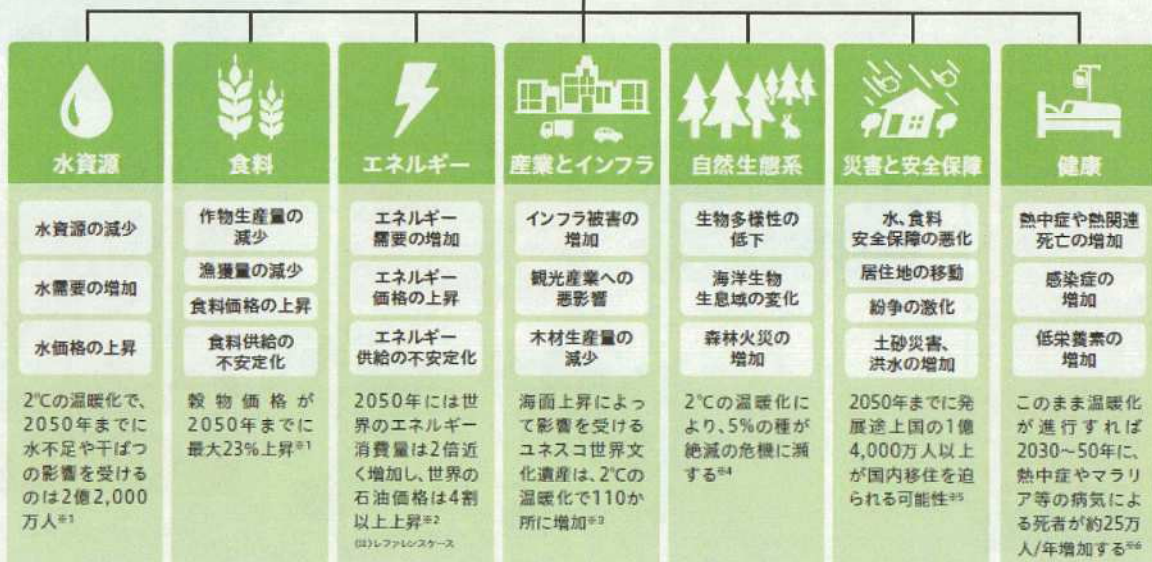


- 全国で軒並み最高気温が40℃超え
- 熱中症などの熱ストレスによる年間国内死亡者数 1万5千人超
- 年間猛暑日予想は、東京で60日
- 豪雨や強い勢力の台風などによる大きな被害
- 冬でも最高気温は25℃を超え、熱中症となる人が出る可能性

地球温暖化

気候要因

- 気温の上昇
- 降水量の減少
- 熱帯低気圧の強化
- 雪氷、凍土の融解
- 海面水位の上昇
- 猛暑の増加
- 豪雨の増加
- 高潮の強化
- 海水温の上昇
- 海洋の酸性化



1. 地球環境問題の今

世界平均気温の上昇と身近な生活に及ぶ気候変動の危機

世界の平均気温は
既に約1℃上昇
近年になるほど
温暖化傾向が加速



この100年の間に

日本の平均気温は…
約1.2℃上昇

東京の平均気温は…
約2.5℃上昇

- 世界と日本の主な気象災害による影響 -

<p>アメリカ カリフォルニア州 (2017.8)</p> <p>ハリケーン (ハビー)</p> <p>経済損失 1,250億ドル (13兆6,875億円)</p> <p>アメリカ カリフォルニア州 (2018.8)</p> <p>山火事</p> <p>焼失面積 18万5千ha以上 (東京23区の約3倍)</p> <p>ヒマラヤ周辺</p> <p>氷河の融解</p> <p>世界人口の20%以上に影響</p>	<p>西日本 (2018.7)</p> <p>豪雨</p> <p>死者 237人 被害額 1兆1,580億円</p> <p>全国 (2019.10)</p> <p>台風 (19号)</p> <p>住宅被害 9万棟以上</p> <p>全国 (2018年)</p> <p>熱中症</p> <p>救急搬送 9万5千人以上</p>
---	---

今後温暖化対策をしなければ
2100年には世界全体で

年間GDP
約12%損失
2018世界年間GDP9,279兆円

1. 地球環境問題の今

パリ協定(2015)

世界共通の長期目標として、産業革命前からの気温上昇を2℃未満に保つこと、1.5℃に抑える努力を追求することに合意

気温上昇を1.5℃に抑えるには

2050年までにCO₂排出量を
実質ゼロにすることが必要



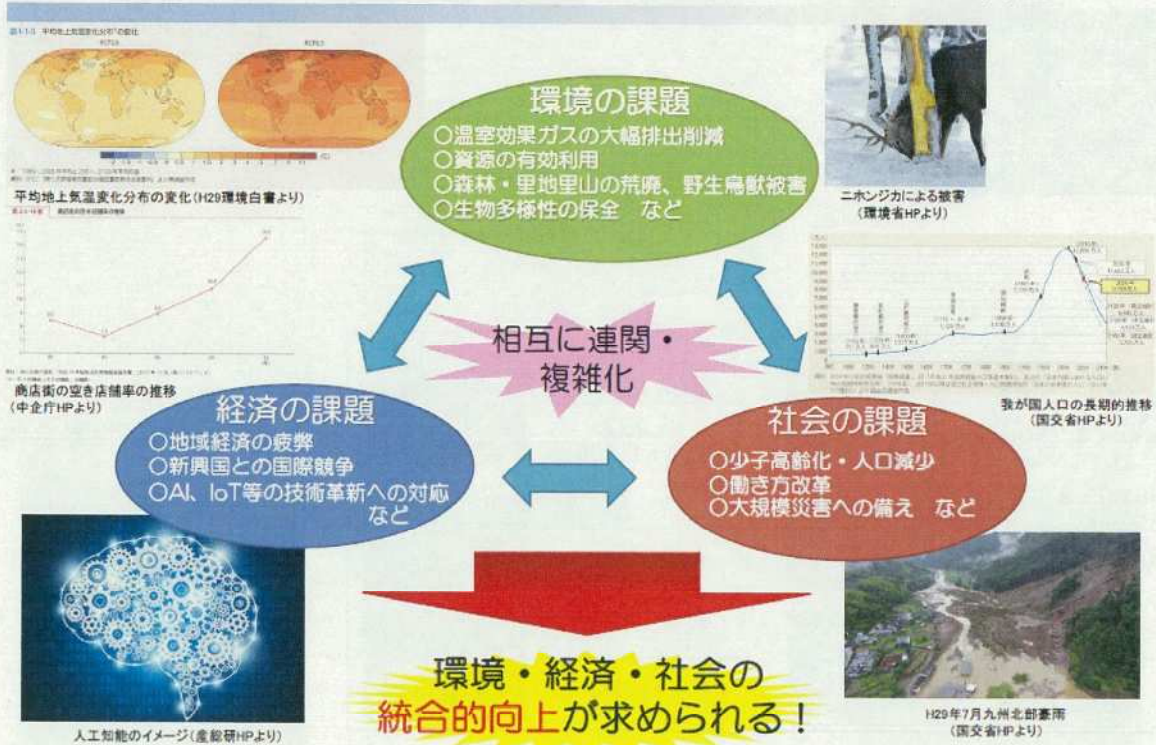
ゼロエミッション東京戦略の策定 ～気候危機に立ち向かう行動宣言～



東京都は、2019年5月、U20東京メイヤーズ・サミットで、世界の大都市の責務として、平均気温の上昇を1.5℃に抑えることを追求し、2050年にCO₂排出実質ゼロに貢献する「ゼロエミッション東京」を実現することを宣言。その実現に向けたビジョンと具体的な取組・ロードマップをまとめた、「ゼロエミッション東京戦略」を策定。



我が国が抱える環境・経済・社会の課題



地域循環共生圏

各地域が自分たちの持つ資源を有効活用しながらネットワークをつくり、環境・経済・社会をよくしていこうという考え方



1. 地球環境問題の今

出典：環境省資料

地域循環共生圏の概略図



全国の先進事例

●エネルギーの地産地消による地域課題の解決（長野県飯田市）

飯田市における太陽光発電施設の設置台数



地域環境権条例に基づく認定事業の例



地域に所在する教育施設ブランドの芝生化

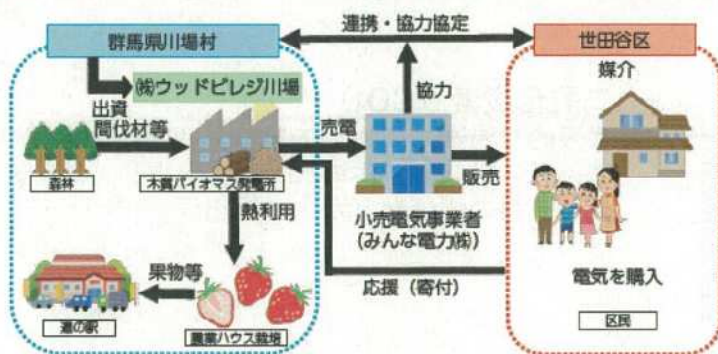
300年続く今田人形継承へ活用

大規模な太陽光発電の市民出資によるファンド（基金）を創設し、売電収益は市民総有の資産として地域の発展・課題解決のために使うという「地域環境権条例」を制定。

1. 地球環境問題の今

出典：環境省資料

●エネルギー供給による東京都世田谷区と群馬県川場村の地域間連携



地方の森林資源を活用した木質バイオマス発電所の電力を、大規模な地産エネルギーの開発が難しい住宅都市へと供給する仕組み

●人の生活・水環境・漁業資源が連携する里川のシステム「長良川システム」

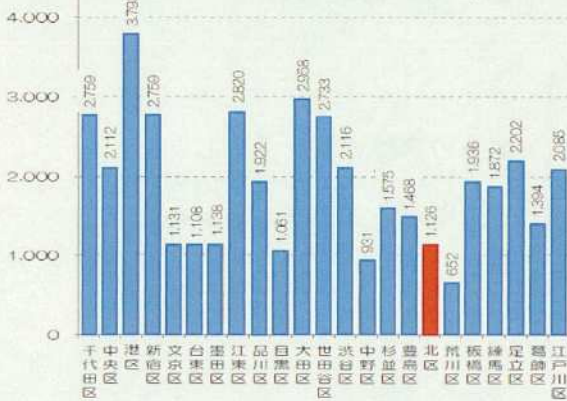


「清流長良川の鮎」を中心とした自然資源（生態系サービス）を活用して、地域の農林水産業や地域そのものをブランド化する取組み

1. 地球環境問題の今
2. 北区の現状・取組み
3. COOL CHOICE
～「賢い選択」で地球温暖化対策～
4. グループワーク

2. 北区の現状・取組み

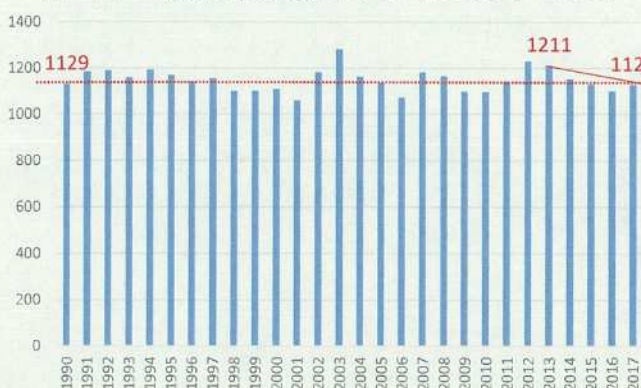
特別区の二酸化炭素排出量（1000 t-CO₂）2017年



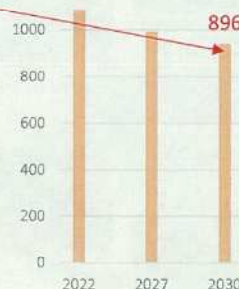
二酸化炭素 (CO₂)

代表的な温室効果ガスであり、我が国の温室効果ガス排出量全体の90%以上を占めている。化石燃料の燃焼などが主な排出源。

北区の二酸化炭素排出量（1000 t-CO₂）



第2次北区地球温暖化対策地域推進計画における2030年度目標値

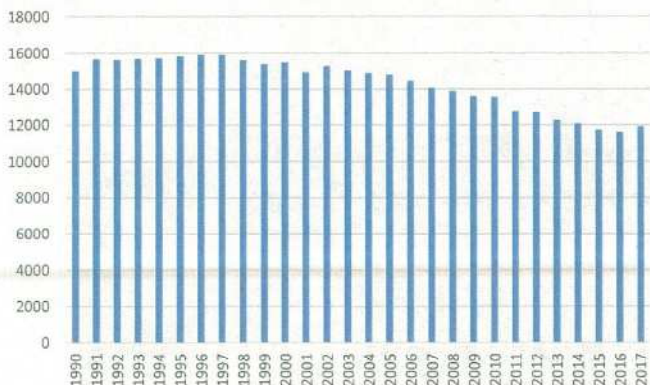


2013年度比で26%減

1211千 t → 896千 t

2. 北区の現状・取組み

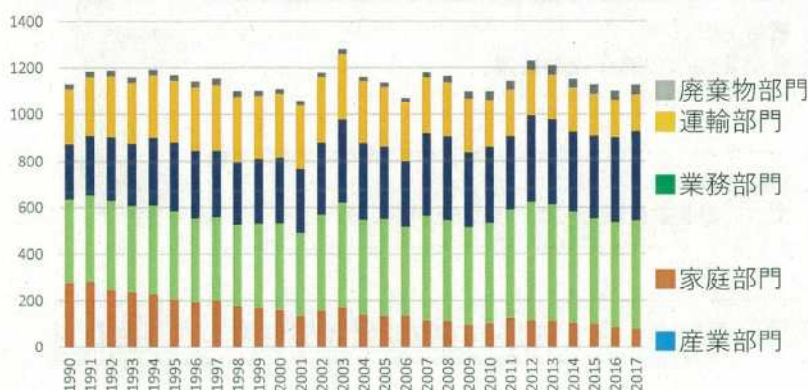
北区のエネルギー消費量 (TJ)



エネルギー消費量と二酸化炭素排出量の傾向が一致しないのは、電力の発電ベースが毎年異なるため。

- 2012,2013 東日本大震災以降の原子力発電所の停止
- 2007 新潟県中越沖地震による柏崎刈羽原子力発電所の停止
- 2003 東京電力の検査・点検等の不正問題に起因する原子力発電所の稼働率低下

北区の部門別二酸化炭素排出量 (1000 t-CO₂)



産業部門

家庭部門

北区民1人あたりの二酸化炭素排出量 (2017)

1.34 t-CO₂

同23区全体1人あたり

1.45 t-CO₂

2. 北区の現状・取組み

北区役所も区内最大の事業者として環境活動を推進

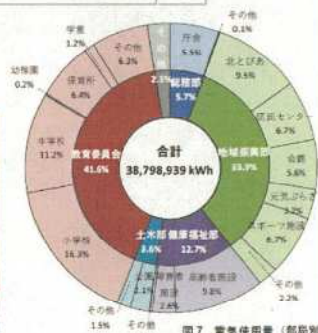
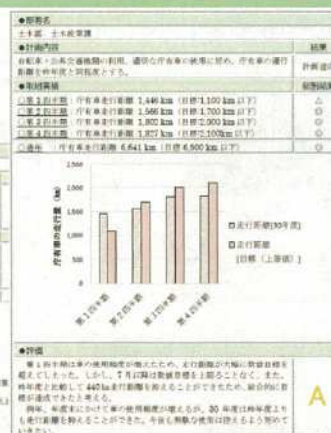
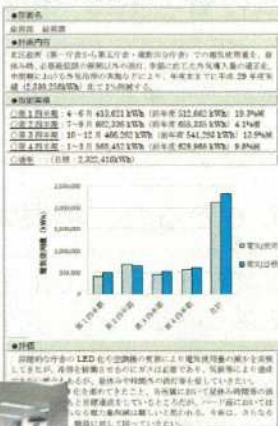
北区環境活動レポート 平成30年度版

対象期間
平成30年4月1日～
平成31年3月31日

発行日: 令和元年11月12日
東京都北区

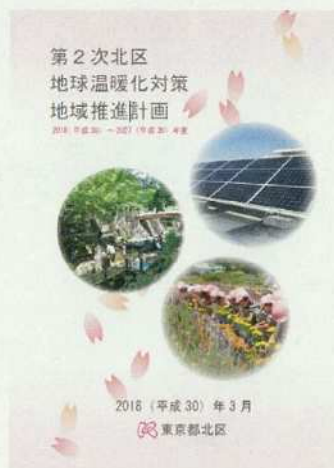
<https://www.city.kita.tokyo.jp/kankyo/kankyoreport.html>

- ・エコオフィス活動
- ・庁舎や施設の適正管理
- ・環境に配慮した公共事業の実施
- ・学校等における環境学習 など



2. 北区の現状・取組み

第2次北区地球温暖化対策地域推進計画



4つの基本方針

基本方針1
低炭素型のライフスタイル・ワークスタイルの普及

基本方針2
省エネ・再エネ・蓄エネシステムの普及

基本方針3
気候変動への適応策の推進

基本方針4
エコ活動を支える人・コミュニティづくり

互いに連携

4つの基本方針に基づき、区民・事業者・区が連携して地球温暖化対策に取り組む

2. 北区の現状・取組み

★新エネルギー省エネルギー機器等の導入助成

太陽光パネルや蓄電池、窓の断熱改修など、新エネルギー省エネルギー設備を導入する区民や事業者に対して、その費用の一部を助成する制度。



★区有施設の省エネ化 街灯のLED化

学校などの区有施設に太陽光発電システムなどの省エネ設備を導入。また、区内の街灯をLED化するなどしている。

★環境学習（省エネ道場・ecoかるた、環境大学事業、環境リーダー養成講座）



ecoかるた遊びや実験や工作を通して省エネ、環境について楽しみながら学ぶ省エネ道場を、区内小学生向けに開催。また、東京家政大学と連携した環境大学事業や、自然ふれあい情報館、エコベルデといった環境学習施設を活用した環境リーダー養成講座等を実施。



2. 北区の現状・取組み

第2次北区地球温暖化対策地域推進計画における主な施策目標

成果目標	策定時（平成28年度） 実績	令和元年度 実績
環境学習拠点の利用人数（/年）	エコー広場館 7.8万人 自然ふれあい情報館 5.4万人 みどりと環境の情報館 2,435人	エコー広場館 7万人 自然ふれあい情報館 4.68万人 みどりと環境の情報館 3,912人
街灯のLED照明への改修数（累計）	4,996灯	6,946灯
新エネ・省エネ機器等の導入助成件数（/年）	253件	280件
区有施設への新エネ機器の導入件数（累計）	27施設	35施設
緑被率（1㎡以上）	19.05%	18.43%
環境リーダー養成講座の実施（/年）	参加者計232人	参加者計306人
省エネ道場への参加者数（/年）	103人	151人

目次

1. 地球環境問題の今

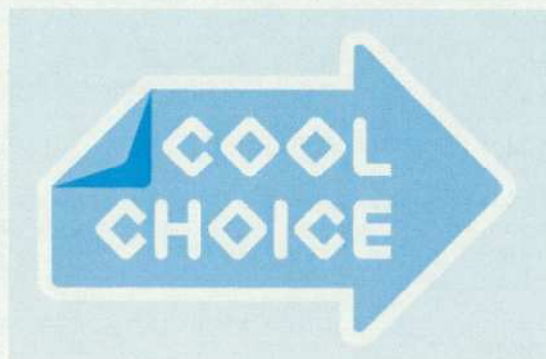
2. 北区の現状・取組み

3. COOL CHOICE

～「賢い選択」で地球温暖化対策～

4. グループワーク

地球温暖化対策のために、今できる「賢い選択」。



脱炭素社会づくりに貢献する製品への買換え・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしていこうという取組のこと

●省エネ

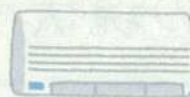
- ・空調温度設定
- ・不使用時電源OFF
- ・PC等省エネ設定

●照明

- ・空室消灯活動
- ・LED照明導入
- ・間引照明、窓際消灯

●働き方改革

- ・テレワーク推進
- ・オフィス宅配受取



●資源／ゴミの削減

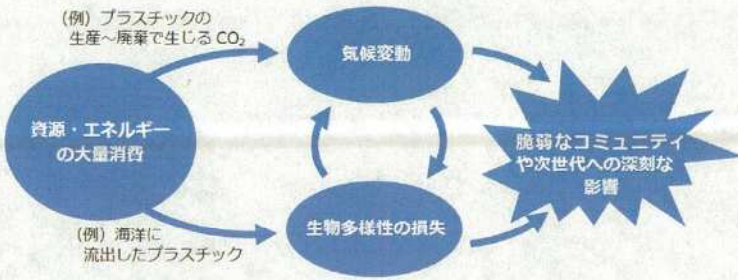
- ・エコバッグ
- ・食品ロス削減
- ・ワンウェイプラスチック削減
- ・ペーパーレス化
- ・簡易・省梱包

●運転・移動

- ・タイヤ空気圧チェック
- ・シェアサービス
- ・クルマの積載物整理
- ・エコドライブ
- ・公共交通機関の利用
- ・宅配物を1回で受取

プラスチックの持続可能な利用に向けて

資源の大量消費が引き起こす気候変動と生物多様性の損失



2030年目標



●使い捨ての見直し

マイバック・マイボトル（レジ袋やペットボトルの削減）

●質の高いリサイクルの推進

分別収集の拡大、焼却・熱回収からの転換

●プラスチック→バイオマス素材への転換

紙・木材等、持続可能（再利用可能）な素材への転換

おわりに

私たちにできること



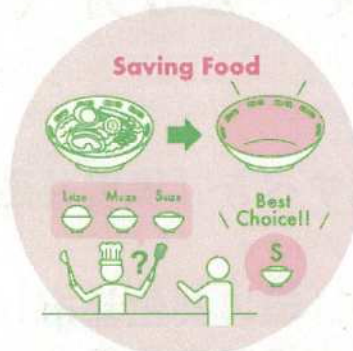
省エネの推進など



東京都環境局



資源の有効利用など



食品ロスの削減など

ご清聴ありがとうございました

グループ討議

1. グループ討議 テーマ① 20分
 テーマ② 20分

2. グループ発表 20分（1班3分程度）

テーマ① 北区が目指すべき「環境共生都市」の姿について

テーマ② 目指すべき「環境共生都市」の実現に向けて、
 区民一人一人にできること、行政に求められること